

お茶高SGHについて

SGH連絡会・分科会2

女性のもっと世界に！

～めざせ 未来のグローバル・リーダー～

お茶の水女子大学附属高等学校
研究部 葛西・玉谷・山川

本日のプログラム

1. お茶の水女子大学附属高校について
2. お茶高SGH事業概要について
- 3-1. 「持続可能な社会の探究Ⅰ」
- 3-2. 生命と環境領域「生命・医療・衛生」
4. 「持続可能な社会の探究Ⅰ」報告会の様子
5. 探究活動（特に発信）とその評価に関する情報交換



お茶の水女子大学附属高校

全日制 普通科 360名（女子のみ）

：1学年3クラス（40人）

約半数は附属中学校から連絡進学

理系希望が約4割

部活：運動部8，文化部12，同好会8

教職員：校長，副校長，主幹，教諭21，養護教諭1，
非常勤講師20，T.T.20，ALT1，外国人特別講師1，
事務職員2，国際交流アドバイザー1，
学校司書（非常勤）1，用務員（非常勤）1

お茶高の教育目標

- ・ 基礎・基本を重視し、広い視野と確かな見方・考え方を持つ生徒を育てる。
- ・ 自主・自律の精神を備え、他者と協働していくことのできる生徒を育てる。
- ・ 社会において有為な教養高い女性を目指し、真摯に努力する生徒を育てる。



教育課程

平成29年度入学生用カリキュラム表

教科	科目	1年		2年		3年	
		必修	選択	必修	選択	必修	選択
国語	国語総合	5					
	現代文B			2		2	
	古典B			3			
	国語表現						2
	古典A甲						2
	古典A乙						1
	教養基礎「国語」I	1					
	教養基礎「国語」II			1			
教養基礎「古典読書」A						2	
教養基礎「古典読書」B						2	
地理歴史	日本史A			2			
	日本史B						4
	世界史A			2			
	世界史B						4
	地理B						3
	グローバル地理	2					
地理演習						1	
公民	倫理・政治・経済					2	
	公民演習	2					2
数学	数学I	3					
	数学II			3			
	数学III						6
	数学A	2					2
	数学B			2			2
	教養基礎「数学」I	1					
	教養基礎「数学」II			1			
教養基礎「数学」III						2	
物理基礎				2			1

理科	物理基礎			2			1		
	物理						5		
	化学基礎	2					1		
	化学						5		
	生物基礎			2			1		
	生物						5		
	地理基礎	2					2		
保健体育	体育	2		2		3			
	保健	1		1					
芸術	音楽Ⅰ	2	}		}		}		
	音楽Ⅱ			2					
	音楽Ⅲ								
	美術Ⅰ	2						2	
	美術Ⅱ			2					
	美術Ⅲ							2	
	書道Ⅰ	2							
	書道Ⅱ					2			
	音楽表現					2			2
	美術表現					2			2
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	4							
	コミュニケーション英語Ⅱ			4					
	コミュニケーション英語Ⅲ					2			
	英語表現Ⅰ	1							
	英語表現Ⅱ						2		
	英語会話						2		
	教養基礎「英語」Ⅰ	1							
	教養基礎「英語」Ⅱ			1					
	教養基礎「英語」Ⅲ						2		
家庭情報	家庭総合	1		2		1			
総合的な学習の時間	社会と情報	2							
	持続可能な社会の探究Ⅰ			2					
	持続可能な社会の探究Ⅱ					1			
ホームルーム	ホームルーム	1		1		1			
計		35		35		12	7~23		

お茶高は行事が多い

主な自治会主催行事

自治会選挙（4・10月）,

新入生歓迎会（4月）

自治会総会（6・10月）

卒業生歓送会（3月）

< 輝鏡祭 >

体育祭（5月）

文化祭（9月）

ダンスコンクール（10月）



2年生を中心に、
全生徒が係に属し、
運営を担当



お茶高は校外学習が多い

- 1 年合宿
（5月, 2泊3日, 諏訪方面）
- 2 年フィールドワーク
（5月, 終日, 都内近郊）
- 3 年沖縄修学旅行
（4月, 4泊5日）



* 上記の行事はSGH化によりフィールドワークとして位置づけ、実施方法・内容等を変更した

農場実習

（1年生：年4回， 2年生：年2回， 東村山市）

お茶高SGHで育てる生徒像

- ・ 確かな**基礎学力**と**広い教養**を身につけ、**社会の諸課題**に高い関心を持つ生徒
- ・ 社会の様々な分野における**問題を発見**し、**異なる文化的背景**を持つ人々と**共生・協働**して、**解決する意欲と能力**を持つ生徒
- ・ **英語を含む言語活用能力**・**論理的思考力**・**プレゼンテーション能力**・**ICT活用能力**の高い生徒



女性の力をもっと世界に！

目指せ 未来のグローバル・リーダー

国際社会の平和と持続可能な発展に寄与する人材

取組の実施・評価
1年目～3年目

改善と発展・発信
4年目～5年目

高大接続
お茶大

高大接続
東工大

お茶の水女子大学の
(グローバル人材育成推進事業実施中)
全資源の日常的な活用

大学公開授業の活用

外国語 e-learning システム

大学図書館の活用
グローバルスタディーコーナー

大学の留学生・学生
チューターの活用

サマープログラム
(英語・日本語)

3年生 必修 持続可能な社会の探究Ⅱ

2年次までの探究活動をふまえ、社会的課題を発見する力・解決する力を高め、発信活動を行う。

2年生 必修 持続可能な社会の探究Ⅰ

生命と環境領域
経済発展と環境
生命・医療・衛生

経済と人権領域
国際協力とジェンダー
国際関係と課題解決

文化と表現領域
情報技術と創造力
言語に依存しない情報発信

1年次に培った興味・関心に基づき、「持続可能な社会の探究」というテーマに沿った具体的な課題(平和、人権、ジェンダー、環境、開発、資源・エネルギー、食糧、人口、民族、文化など)を設定して探究的活動を行い、課題設定及び解決能力を身につける。

1年生 必修 グローバル地理

世界の環境、資源・エネルギー、災害、生活・文化、人口、ジェンダーなどのグローバルな社会的課題を広く学び、2・3年次の基礎をつくる。

教養教育

学校設定科目
教養基礎
大学教員との共同
カリキュラム開発

教養教育
をめざす教育課程
文理を問わず幅広く
必修科目を履修

グローバル講座
グローバルに活躍する
専門家・卒業生等による講演会

特別活動による
自主・自律
生徒が主体的に
運営する学校行事

学外の組織との連携

国際NGOとの連携

日本IBMとの連携
女性が活躍する
グローバル企業に学ぶ

タイ王国大使館や
チューロンコーン
大学附属学校との交流

イオン1%クラブ
アジアの高校生の
多国間交流事業

台北一女
課題研究を通じて交流

教授陣

国際交流
チーム

グローバル
教育センター

グローバル
協力センター

外国語
教育センター

リーダーシップ
養成教育研究センター

グローバル人材
育成推進センター

お茶の水女子大学の全学的な支援・連携

大学組織

学長

運営指導委員会

学外専門家による指導

本部

附属学校部

研究開発全般のサポートと経理事務

グローバル人材育成・男女共同推進

大学と高校の事業を統合的に管理運営し「キャンパス全体のグローバル化」を進める

大学事務部門

国際交流・教務・環境安全チーム

アドバイザリーボード

お茶の水女子大学教授団 10名程度
計画全般の指導、課題研究への専門家としての協力

高校組織

校長

副校長

連携・評価・発信

海外・大学・他校との連携の担当者(A)
教養教育・課題研究を含むSGH全体の評価および分析の担当者(B)
SGHの研究成果をホームページ等で発信する担当者(C)

拡大研究部会（研究部および各課題研究主担当）

課題研究
「グローバル地理」担当者

課題研究
「探究Ⅰ」担当者

課題研究
「探究Ⅱ」担当者

海外研修 担当者

教 養 教 育

学校設定科目「教養基礎」を含む全教科の担当者

企業・国際機関・海外提携校・同窓会

グローバル地理

- ・世界の環境, 資源・エネルギー, 災害, 生活・文化, 人口, ジェンダーなどのグローバルな社会的課題に関する分野・領域を広く学習し, 興味・関心を高めるとともに, 幅広い教養を身につける。
- ・専門分野の研究者による講義を受講し, 専門的な学問への興味・関心を高め, 当該分野への知識を深める。
- ・探究的な学習を行い, その成果を個人やグループでレポートにまとめるとともに, 文化祭や校内発表会, 外部の高校生対象論文コンクール等で発表する。

1学期

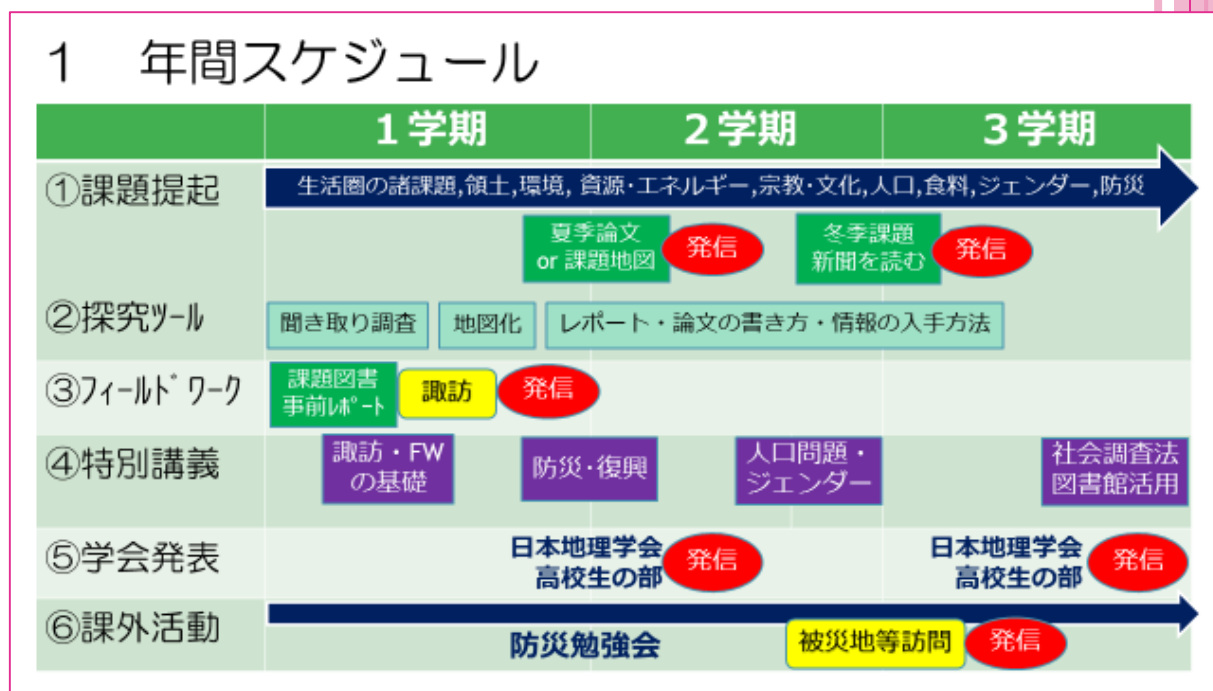
諏訪FWを通して探究の技能を学ぶ

2学期

グローバルな社会的課題を学ぶ

3学期

諸課題を通して, 地域を学ぶ



持続可能な社会の探究 I

1年次に培った興味・関心に基づき、「持続可能な社会の探究」というテーマに沿った具体的な課題を設定して探究的活動を行い、課題設定及び解決能力を身につける。

生命と環境領域・・・経済発展と環境

生命・医療・衛生

経済と人権領域・・・国際協力とジェンダー

国際関係と課題解決

文化と表現領域・・・情報発信と創造力

言語に依存しない情報発信

2016年度に構想調書の変更が認められ、持続可能な社会の探究 I とグローバル総合を融合させた。3講座を新設するとともに、3つの領域を設定



持続可能な社会の探究Ⅱ

2年次までの探究活動をふまえ、社会的課題を発見する力・解決する力を高め、発信活動を行う。

【活動内容】

英字新聞の作成

(Japan Times のプログラム)

【活動目標】

「他者と協力して活動」

「まとまりのある英文を書く」

「ICTの活用」



SGH科目等の評価

グローバル地理（学校設定科目）

- ：評価対象・・・考査，レポート，プレゼン，取り組み
全体の評価規準を作成
- 探究活動の発信に関する評価規準を作成中

持続可能な社会の探究Ⅰ（総合的な学習の時間）

- ：評価対象・・・論文，レポート，プレゼン，取り組み
講座ごとに評価規準/ルーブリックを作成して評価

持続可能な社会の探究Ⅱ（総合的な学習の時間）

- ：評価対象・・・英字新聞作成に向けた提出物，取り組み
マスタールーブリックを作成→クラス担当者が評価

持続可能な社会の探究 I

1年次に培った興味・関心に基づき、「持続可能な社会の探究」というテーマに沿った具体的な課題を設定して探究的活動を行い、課題設定及び解決能力を身につける。

生命と環境領域・・・経済発展と環境

生命・医療・衛生

経済と人権領域・・・国際協力とジェンダー

国際関係と課題解決

文化と表現領域・・・情報発信と創造力

言語に依存しない情報発信

2016年度に構想調書の変更が認められ、持続可能な社会の探究 I とグローバル総合を融合させた。3講座を新設するとともに、3つの領域を設定



女性の力をもっと世界に！ 目指せ 未来のグローバル・リーダー

国際社会の平和と持続可能な発展に寄与する人材

取組の実施・評価
1年目～3年目

改善と発展・発信
4年目～5年目

高大接続
お茶大

高大接続
東工大

お茶の水女子大学の
(グローバル人材育成推進事業実施中)
全資源の日常的な活用

大学公開授業の活用

外国語 e-learning システム

大学図書館の活用
グローバルスタディーコーナー

大学の留学生・学生
チューターの活用

グローバル
ラウンジ

3年生必修
持続可能な社会の探究 II

2年次までの探究活動をふまえた
フィールドワークを実施し、社会的課題を
発見する力・解決する力を高める。

選択 グローバル
総合アドバンス

2年生必修
持続可能な社会の探究 I

1年次に培った興味・関心に基づき、
「持続可能な社会の探究」というテーマに沿った
具体的な課題（平和、人権、ジェンダー、環境、
開発、資源・エネルギー、食糧、人口、民族、
文化など）を設定して探究的活動を行い、
課題設定及び解決能力を身につける。

選択 グローバル総合

国際協力とジェンダー 人権・格差

経済発展と環境 持続可能な開発を目指して

国際関係と課題解決 貧困・平和・人権

1年生必修
グローバル地理

世界の環境、資源・エネルギー、災害、生活・文化、人口、ジェンダーなどの
グローバルな社会的課題を広く学び、2・3年次の基礎をつくる。

教養教育

学校設定科目
教養基礎
大学教員との共同
カリキュラム開発

教養教育
をめざす教育課程
文理を問わず幅広く
必修科目を履修

グローバル講座
グローバルに活躍する
専門家・卒業生等による講演会

特別活動による
自主・自律
生徒が主体的に
運営する学校行事

学外の組織との連携

国際NGOとの連携

日本IBMとの連携
女性が活躍する
グローバル企業に学ぶ

タイ王国大使館や
チューラーロンコーン
大学附属学校との交流

イオン1%クラブ
アジアの高校生の
多国間交流事業

台北一女
課題研究を通じて交流

教授陣

国際交流
チーム

グローバル
教育センター

グローバル
協力センター

外国語
教育センター

リーダーシップ
養成教育研究センター

グローバル人材
育成推進センター

お茶の水女子大学の全学的な支援・連携

女性の力をもっと世界に！ 目指せ 未来のグローバル・リーダー 国際社会の平和と持続可能な発展に寄与する人材

取組の実施・評価
1年目～3年目

改善と発展・発信
4年目～5年目

高大接続
お茶大

高大接続
東工大

お茶の水女子大学の
(グローバル人材育成推進事業実施中)
全資源の日常的な活用

大学公開授業の活用

外国語 e-learning システム

大学図書館の活用
グローバルスタディーコーナー

大学の留学生・学生
チューターの活用

サマープログラム
(英語・日本語)

3年生 必修 持続可能な社会の探究Ⅱ

2年次までの探究活動をふまえ、社会的課題を発見する力・解決する力を高め、発信活動を行う。

2年生 必修 持続可能な社会の探究Ⅰ

生命と環境領域
経済発展と環境
生命・医療・衛生

経済と人権領域
国際協力とジェンダー
国際関係と課題解決

文化と表現領域
情報技術と創造力
言語に依存しない情報発信

1年次に培った興味・関心に基づき、「持続可能な社会の探究」というテーマに沿った具体的な課題(平和、人権、ジェンダー、環境、開発、資源・エネルギー、食糧、人口、民族、文化など)を設定して探究的活動を行い、課題設定及び解決能力を身につける。

1年生 必修 グローバル地理

世界の環境、資源・エネルギー、災害、生活・文化、人口、ジェンダーなどのグローバルな社会的課題を広く学び、2・3年次の基礎をつくる。

教養教育

学校設定科目
教養基礎
大学教員との共同
カリキュラム開発

教養教育
をめざす教育課程
文理を問わず幅広く
必修科目を履修

グローバル講座
グローバルに活躍する
専門家・卒業生等による講演会

特別活動による
自主・自律
生徒が主体的に
運営する学校行事

教授陣

国際交流
チーム

グローバル
教育センター

グローバル
協力センター

外国語
教育センター

リーダーシップ
養成教育研究センター

グローバル人材
育成推進センター

お茶の水女子大学の全学的な支援・連携

学外の組織との連携

国際NGOとの連携

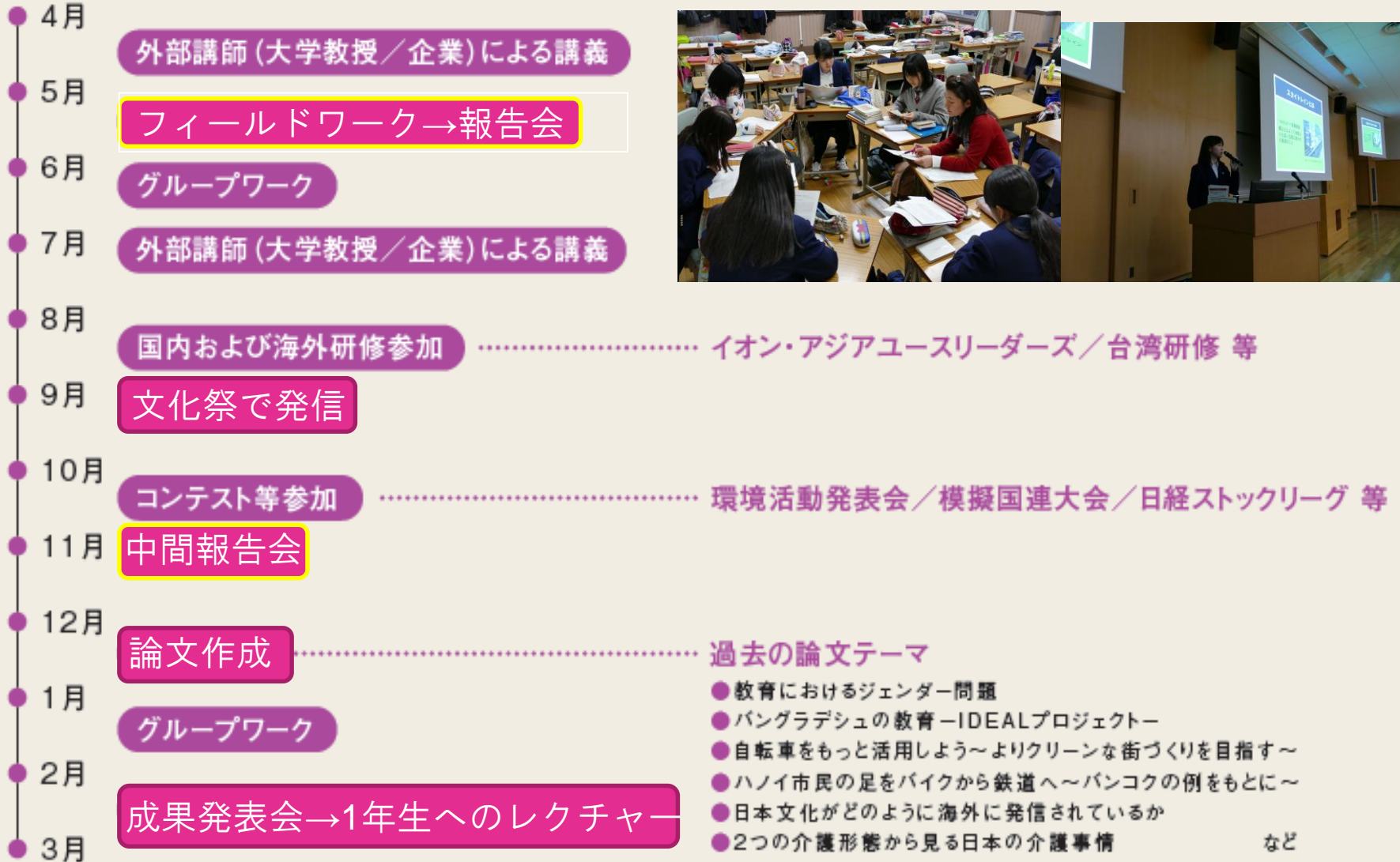
日本IBMとの連携
女性が活躍する
グローバル企業に学ぶ

タイ王国大使館や
チューロンコーン
大学附属学校との交流

イオン1%クラブ
アジアの高校生の
多国間交流事業

台北一女
課題研究を通じて交流

持続可能な社会の探究 I の主なスケジュール



- 教育におけるジェンダー問題
 - バングラデシュの教育 - IDEALプロジェクト -
 - 自転車をもっと活用しよう ~ よりクリーンな街づくりを目指す ~
 - ハノイ市民の足をバイクから鉄道へ ~ バンコクの例をもとに ~
 - 日本文化がどのように海外に発信されているか
 - 2つの介護形態から見る日本の介護事情
- など

持続可能な社会の探究 I

生命と環境領域

「生命・医療・衛生」講座報告



女性の力をもっと世界に！

目指せ 未来のグローバル・リーダー

国際社会の平和と持続可能な発展に寄与する人材

取組の実施・評価
1年目～3年目

改善と発展・発信
4年目～5年目

高大接続
お茶大

高大接続
東工大

お茶の水女子大学の
(グローバル人材育成推進事業実施中)
全資源の日常的な活用

大学公開授業の活用

外国語 e-learning システム

大学図書館の活用
グローバルスタディーコーナー

大学の留学生・学生
チューターの活用

サマープログラム
(英語・日本語)

3年生 必修 持続可能な社会の探究 II

2年次までの探究活動をふまえ、社会的課題を発見する力・解決する力を高め、発信活動を行う。

2年生 必修 持続可能な社会の探究 I

生命と環境領域

経済発展と環境

生命・医療・衛生

経済と人権領域

国際協力とジェンダー

国際関係と課題解決

文化と表現領域

情報技術と創造力

言語に依存しない情報発信

1年次に培った興味・関心に基づき、「持続可能な社会の探究」というテーマに沿った具体的な課題(平和、人権、ジェンダー、環境、開発、資源・エネルギー、食糧、人口、民族、文化など)を設定して探究的活動を行い、課題設定及び解決能力を身につける。

1年生 必修 グローバル地理

世界の環境、資源・エネルギー、災害、生活・文化、人口、ジェンダーなどのグローバルな社会的課題を広く学び、2・3年次の基礎をつくる。

教養教育

学校設定科目
教養基礎
大学教員との共同
カリキュラム開発

教養教育
をめざす教育課程
文理を問わず幅広く
必修科目を履修

グローバル講座
グローバルに活躍する
専門家・卒業生等による講演会

特別活動による
自主・自律
生徒が主体的に
運営する学校行事

学外の組織との連携

国際NGOとの連携

日本IBMとの連携
女性が活躍する
グローバル企業に学ぶ

タイ王国大使館や
チューロンコーン
大学附属学校との交流

イオン1%クラブ
アジアの高校生の
多国間交流事業

台北一女
課題研究を通じて交流

教授陣

国際交流
チーム

グローバル
教育センター

グローバル
協力センター

外国語
教育センター

リーダーシップ
養成教育研究センター


グローバル人材
育成推進センター

お茶の水女子大学の全学的な支援・連携

講座の概要

- ・ 2016年度から新設の3講座のうちの1つ
- ・ 講座担当教員：理科(生物)、保健体育科

初年度(2016年度)の生徒探究テーマ一覧

- ・ お茶高生と考える出生前診断
 - ・ Hair Donation(髪の毛の寄付)活動の普及を目指す
 - ・ 心の健康と体の健康のセルフチェック方法
 - ・ コンビニ商品を活用した健康のための食生活
 - ・ 子宮頸がんワクチンへの賛否の実情
 - ・ 合理的選択による臓器提供の拡大
 - ・ 宇宙旅行を身近にするには
 - ・ 在宅医療の可能性を探る
 - ・ 途上国における乳幼児死亡率の改善と安全な出産のために
- 

年間の流れ(2016年度)

1 学期

- 探究活動のグルーピング(受講生20名)
- フィールドワークとその報告会
- 外部講師による講義
 - 独立行政法人国際協力機構(JICA)
国際協力専門(保健) 萩原明子氏
 - お茶大大学院人間文化創成科学研究科
飯田 薫子 准教授
 - お茶大大学院人間文化創成科学研究科
沼部 博直 教授
- 校外学習
 - 東京大学医科学研究所
新領域創成科学研究科 内丸 薫 研究室



5月 フィールドワーク

午前：講座全員で国立国際医療研究センター

同センター国際医療協力局 土井 正彦 氏

同センター感染症対策専門職 堀 成美 氏

同センター産婦人科医 定月 みゆき 氏

午後：班ごとに生徒が交渉した訪問先

日本臓器移植ネットワーク、JAXA、日本栄養士会、
国立健康・栄養研究所、国立感染症研究所など



5月 フィールドワークの報告会

「経済発展と環境」講座と合同

1グループ5分という上限のみ指定したが・・・

臓器提供できる臓器

☆亡くなり方が異なる

- 脳死 → 脳のみ
- 血液の循環
- 心停止 → 心臓、呼吸
- 血液の循環

提供できる臓器

- 心臓、肝臓、肺、小腸
- 皮膚、心臓弁、血管、耳小骨、気管、骨

臓器提供できない臓器

- 脳幹

☆臓器が機能しているかによって判断が変わる！

- 脳幹：心臓を動かす、体温を保つ

植物状態

- 脳幹が機能している
- 呼吸が機能している

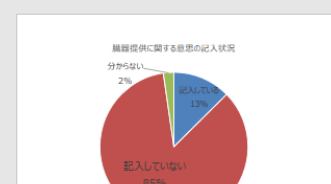
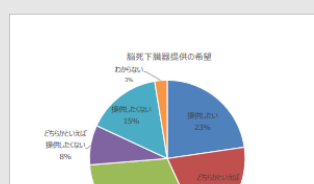
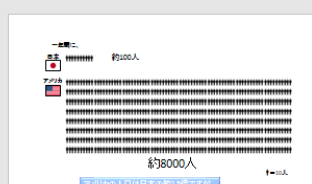
脳死・植物状態とは？

脳死

- 呼吸が機能していない
- 回復不能

植物状態

- 脳幹が機能している
- 呼吸が機能している



フィールドワーク報告会

JAXA訪問

2U35 水野結実

宇宙での長期滞在と身体

- 骨への影響
- 筋肉への影響
- 精神への影響

骨への影響

正常な状態

微小重力環境下

筋肉への影響

地上では、人間は寝ているとき以外は常に重力に逆らって行動しているため、筋肉は体を支えるために緊張している。ところが宇宙では重力が作用しないため、筋肉が衰える。

1

1

2

3

4

精神への影響

- 地上と隔絶した環境で過ごす孤独感
- 異なる文化の人々と暮らす対人関係上のストレス
- 危険な環境で過ごす緊張感

宇宙太陽光発電システム

宇宙太陽光発電システム (SSPS: Space Solar Power Systems) とは、宇宙空間において、太陽光エネルギーをマイクロ波またはレーザー光に変換

月でSSPS - ルナリング -

参考文献

- ・JAXA 宇宙実験サックと解説: Fish Scales編 http://iss.jaxa.jp/kiboexp/theme/second/fishscales/kaisetsu_1.html
- ・JAXA 宇宙ステーション「きぼう」広域情報センター <http://iss.jaxa.jp/index.html>
- ・JAXA 研究開発部門

(株)セフティライフ

代表 佐藤 博生
2期 27名、28名、29名、30名、31名、32名、33名、34名、35名、36名、37名、38名、39名、40名、41名、42名、43名、44名、45名、46名、47名、48名、49名、50名

(株)セフティライフ

食・健康・栄養・美容に関わる人材総合カンパニー

管理栄養士などの企業への派遣などを行っている会社。
2014年10月はこの会社業務の管理栄養士さんにお話を伺いました。

私たちの研究内容

- ・栄養と腸内環境をはじめとする生活習慣病の関係
- ・時間栄養学(時間の経過や季節などによる食事・食の関係)
- ・日本における世界的に見た食の文化、食や健康に対する認識

糖尿病について

旬の野菜、12ヶ月

季節の特性とカラダを導く食材たち

「土産土法」とは。

「その土地で採れた食材はその土地に伝わる食べ方で食べるのが一番いい」という意味。

「その土地の気候風土の中で育つものを、食べやすい形で無駄なく食べる方法が人間にも自然にも良い！」

1

2

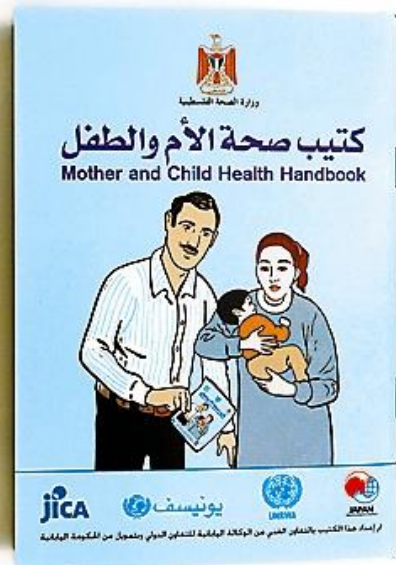
3

4

5

お茶大や外部講師の方々による講義

- 生活習慣病について
- 途上国における母子手帳普及の取り組み
- 遺伝子診断、遺伝子治療と遺伝カウンセリング



7月 校外学習

東京大学医科学研究所（研究室見学とご講義）、
同キャンパス内の近代医科学記念館見学



年間の流れ(2016年度)

夏
休
み

- ・ 探究テーマに関する書籍2冊以上を読む
(著者の立場の異なるもの)

2
学
期

- ・ 探究活動の開始
文献調査、アンケート調査、
フィールドワーク、校内での呼びかけ活動、
動画の作成 など…

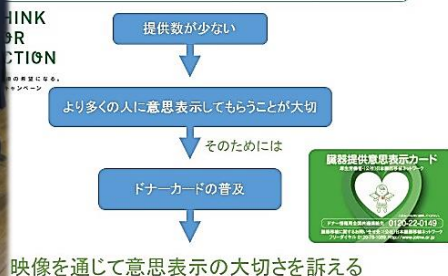
しかし…

1学期の外部講師による講義や校外学習を通じて、
探究テーマ変更を申し出る生徒が複数

11月 中間発表会 「経済発展と環境」と合同



臓器移植 ～わたしたちにできること～



生命・医療・衛生 2R25 武井香穂 2U33 松崎海菜

訪問医療



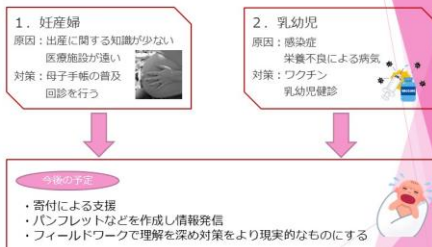
宇宙医学の応用

宇宙医学→宇宙飛行士の健康と体力を維持する
→地上での予防医学の研究に貢献する

多くの方に楽しみながら知ってもらうために
成果物の形態を模索中です！

「生命・医療・衛生」
2年梅組35番 水野結葵

途上国の乳幼児死亡率の改善と安全な出産



- ・テーマ：ヘアドネーション（髪の寄付）
- ・目的：ヘアドネーションの普及
- ・成果物：ポスター、PDF文章、体験記
- ・課題：美容院への聞き込み
ポスターの配布（他校へ）
認知度調査（校内）



Hair Donation

生命・医療・衛生講座 2 関 2 清水実希

健康になるにはコツがあった！

- > いつ、どうやって、なにをすればいいの？
- > 時間栄養学、運動学、睡眠学

お茶高生でもできる！
～いつもの毎日にもう一手間～

1. 朝起きたらコップ一杯の水
2. ていねいに洗顔

ご清聴ありがとうございました。

生命・医療・衛生 2R 前川千晶

出生前診断

出生前診断は、妊婦全員が受けるものではなく、受ける受けないは本人の判断に任されています。

「医師に言われたから」 → 大きな精神的負担
「とりあえず・・・」
課題：医療技術の進歩と心のケアのアンバランス

- ・心のケアを充実させる
- ・気軽に受ける事を防ぐ

生命・医療・衛生 K米川百合菜 R染谷実奈



健康寿命を延ばすために

<内容>

健康寿命を延ばす＝生活習慣病を防ぐ

食事面での生活習慣病の予防を目指した献立を作成



- ・高齢者を対象
- ・コンビニ食材
- ・日本食

生命・医療・衛生講座 阿部、石原、長田

冬休み・3学期

- 成果物の作成：論文、ポスター、動画、WEBページ、高校生（後輩）向け教材など



からの詳細情報
0001 東京都文京区白山1丁目33-16
2070
で見る



15歳以上から意思表示が可能です



HAIR DONATION

Hair Donation(髪の毛の寄付)とは:
小児がん治療などにより髪が抜けてしまった
18歳未満の子どもに無償で人毛のかつらを提供するための寄付活動
31cm以上で寄付可能(50cm以上でロングヘアのかつらができる)
パーマ、カラー、くせ毛でも寄付可能
髪の毛の郵送先: NPO JHDAC
〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎3丁目8-1 8
JHDAC HP: <http://www.jhdac.org/>



「生命・医療・衛生」初年度をふりかえって

- 1学期のFWや外部講師による講義は、生徒に好評
- FWや講義を受けて複数の生徒がテーマ変更し、探究活動の開始時期が遅れた
- 課題設定の難しさ(倫理的問題など、解決策をひとつに示すことができないテーマをどう指導するか)
- 年度当初の基本的知識の不足
(生物をはじめとする他科目との兼ね合い)



2年目の今年度は・・・

- 1学期は、FWや講義を通じて広く知識を得る方針は変わらず。
ただし、漫然と知識を得る場ではないことを指導。
- 1学期末までに、「**プレ論文**」の執筆
探究の目的、成果、展望を一度文章化する機会
引用・参考文献など、フォーマットを守る練習
- 倫理的課題を含む場合は特に、**成果物の発信相手**
を早期からイメージする指導
- **WEBよりも文献**にあたる習慣づけ
(春休みに2冊、プレ論文執筆のために2冊以上)



今年度これまでの取り組み

2月 講座配属決定(23名)

3月 前年度本講座所属の先輩から、 探究活動のノウハウを直に聞き取る機会

午後の分科会の「グループワーク」の時間において、2年生から1年生へ話してほしいポイント。

- A) 探究テーマ紹介と、テーマ設定の経緯について
- B) フィールドワークの反省(アポ取りから当日まで)
- C) 成果物の形態について(工夫した点、反省点)
- D) 1学期に何をすればよかったか。

上記のポイントについて、1年生に向けてグループ内でお話をしてもらいます。

その後、今日の最後に1年生が、2年生の話から学んだことを簡単にまとめて発表します。

A~Dの項目について、それぞれ簡潔にまとめて話せる準備をしておいてください。



今年度これまでの取り組み

春休み テーマ関連書籍2冊以上

5月 フィールドワークとその報告会

午前：全員で国立健康・栄養研究所

午後：班ごとに生徒が交渉した訪問先

国立感染症研究所、

東京都医学総合研究所、

国立科学博物館、

上田医院、日本医師会



今年度これまでの取り組み

- 外部講師による講義
 - お茶大大学院人間文化創成科学研究科
四元 淳子 教授
 - 東京医科歯科大学附属病院 感染制御部
貫井 陽子 准教授
- 校外学習
 - JICA地球ひろば
国際協力専門(保健)
萩原明子氏
 - 目黒寄生虫館



2017年度の取組み ～探究 I FW報告会～

2017年5月12日（金） フィールドワーク実施

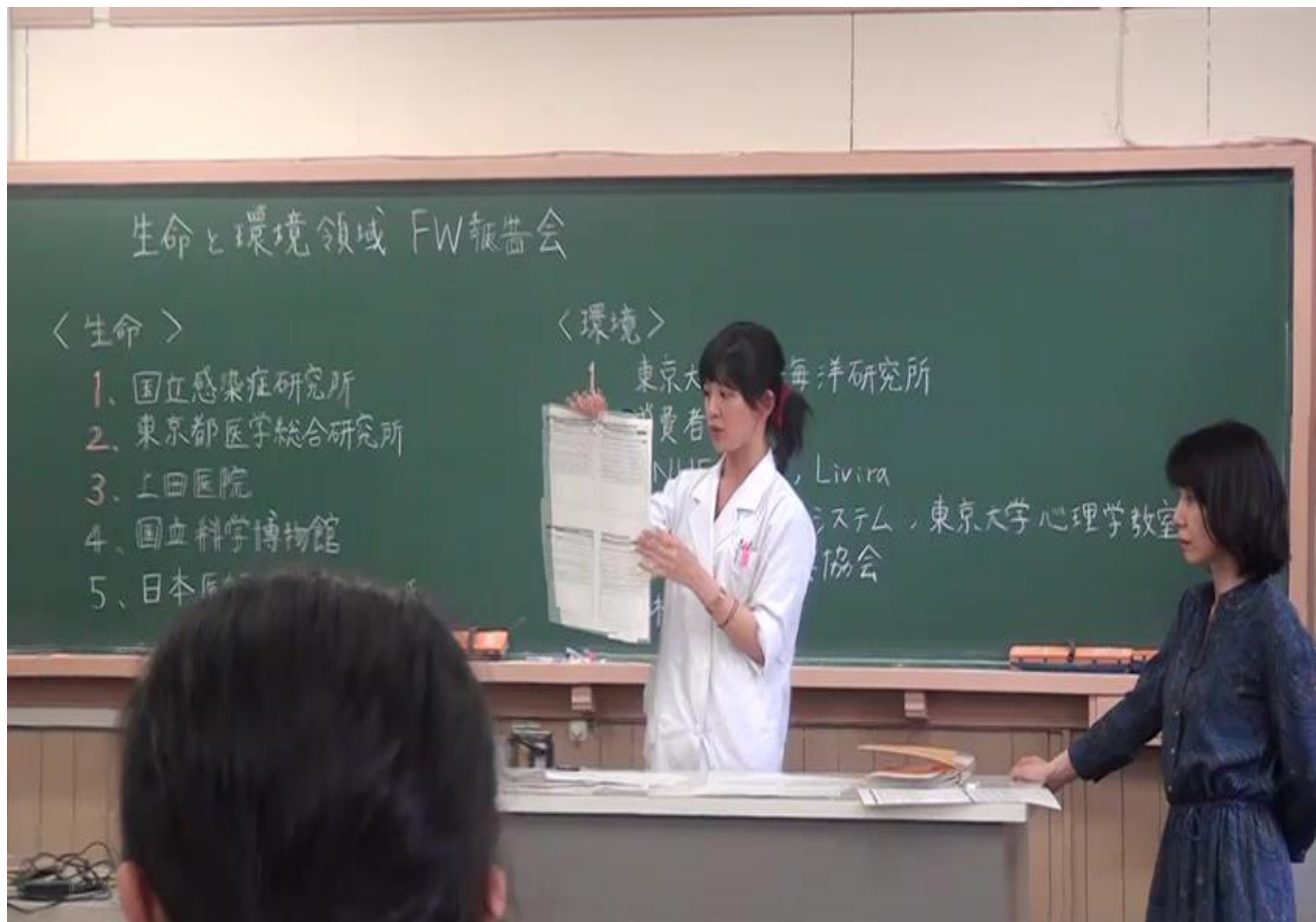
訪問先・・・IOM駐日事務所，アスクル株式会社，医療法人社団和幸会，INHEELS，AAR JAPAN，カルビー株式会社，国立科学博物館，国立感染症研究所，国立健康・栄養研究所，国連UNHCR協会，サイバーディフェンス研究所，JVC，JETRO アジア経済研究所，JEN，JICA地球広場，上智大学下川研究室，消費者庁，選挙ドットコム株式会社，WFP協会，TEPIA先端技術館，東京視覚障害者協会，東京大学人文社会系研究科心理学研究室，東京大学大気海洋研究所，東京大学都市デザイン研究室，東京地下鉄株式会社，東京都医学総合研究所，東京都中途失聴・難聴者協会，日産スタジアム事業課，日本医師会館，日本観光振興協会，日本マイクロソフト，日本ユニセフ，農林水産省林野庁，パルシステム，パレスチナ子どものキャンペーン，プラン・インターナショナル・ジャパン，保健会館新館，ホテルメトロポリタン，UDS株式会社 浅草BUNKA HOSTEL TOKYO，Liv：ra

報告会・・・ 5/17（水） **生命と環境領域**，文化と表現領域
5/31（水） **経済と人権領域**



探究 I FW報告会 ～生命と環境領域5/17～

*生命と環境領域の報告会（相互評価の視点、ポイント説明）の様子をご覧ください。



探究 I FW報告会 ～生命と環境領域5/17～

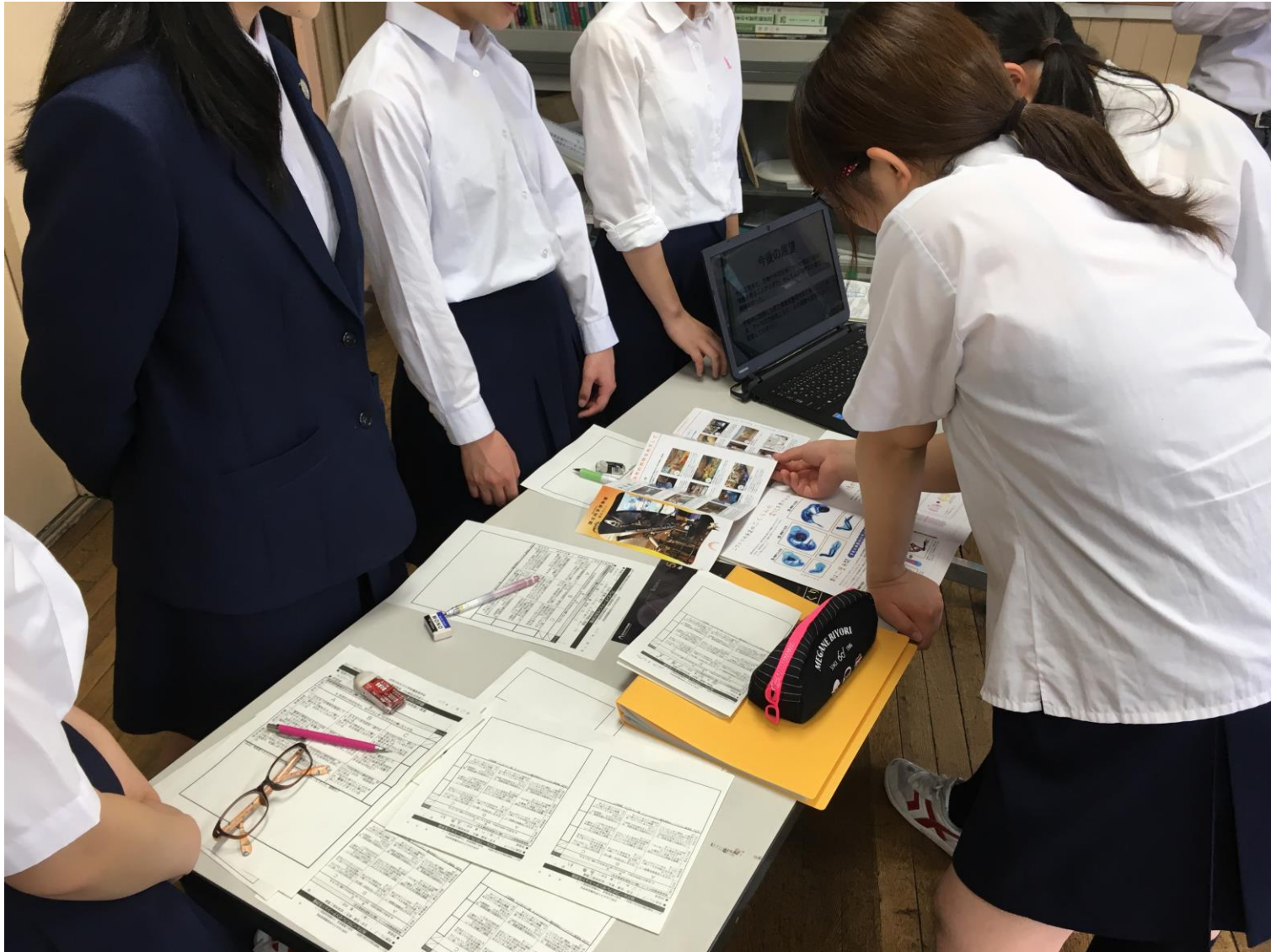
* 生命と環境領域の報告会の様子をご覧ください。



探究 I FW報告会 ～生命と環境領域5/17～

* 生命と環境領域の報告会の様子をご覧ください。

→ 当日配布された評価用紙を使って評価をしてみてください。



探究 I FW報告会 ～5/31 経済と人権領域～

- * 経済と人権領域「国際協力とジェンダー」の報告会の様子をご覧ください。
- 当日配布された評価用紙を使って評価をしてみてください。



探究 I FW報告会 ～5/31 経済と人権領域～

- * 経済と人権領域「国際関係と課題解決」の報告会の様子をご覧ください。
- 当日配布された評価用紙を使って評価をしてみてください。



探究 I FW報告会に向けて ～5/17 経済と人権領域～

* 経済と人権領域「国際関係と課題解決」のFW振り返り学習の様子をご覧ください。



探究 I FW報告会に向けて ～5/17 経済と人権領域～

* 経済と人権領域「国際関係と課題解決」のFW講座内報告の様子をご覧ください。



探究 I FW報告会に向けて ～5/31 経済と人権領域～

「国際協力とジェンダー」「国際関係と課題解決」の相互評価，自己評価，教員の評価

国際協力と
ジェンダー

評価項目		A1	A2	a1	a2
相互評価	S (人)	3	2	2	4
	A (人)	23	16	13	19
	B (人)	3	12	14	7
	C (人)	0	0	1	0
自己評価 1		B	A	B	A
自己評価 2		S	S	A	S
自己評価 3		A	B	B	S
自己評価 4		A	B	B	A
自己評価 5		S	A	C	S
担当者の評価		A	B	B	B

国際関係と
課題解決

評価項目		A1	A2	a1	a2
相互評価	S (人)	2	1	4	0
	A (人)	23	21	20	14
	B (人)	7	11	10	13
	C (人)	0	1	0	2
自己評価 1		A	B	A	B
自己評価 2		A	B	A	B
自己評価 3		B	B	B	B
担当者の評価		B	C	B	C



ワークショップ (30分)

①グループでの話し合い 15分

*グループ内で、それぞれの評価を比較してください。

*本校のフィールドワークの実施方法や、報告会の実施方法、その評価方法について、意見を交換してください。

*それぞれの勤務校における探究活動やその評価の方法等について、意見を交換してください。

⇒ 話し合いながら、付箋や紙を利用して、グループで探究活動やその評価にともなう「課題」と「その改善策」をまとめてください。

②全体での共有 1分×9班

*グループで話し合った「課題」と「その改善策」を報告してください。



ありがとうございました。

